

男女共同参画推進室 便り



神戸大学男女共同参画推進室 〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 tel. 078-803-5017 fax. 078-803-5285 分室 tel/fax. 078-803-5471

女性研究者養成システム改革加速「レボリューション！女性教員養成神戸スタイル」に向けて — 自然科学系先端融合研究環としての取り組み 課題と挑戦 —



自然科学系先端融合研究環長
野海正俊

(のうみ まさとし)

1955年、宮崎県生まれ。1995年4月、阪神淡路大震災直後に神戸大学理学部数学科に教授として着任。神戸に来て、今年18年目の年である。可積分系、表現論、特殊関数の交錯する領域で、数学の研究と教育に携わっている。

自然科学系先端融合研究環は、2007年の自然科学研究科の改組の一環として、自然科学系の4つの研究科(理学, 工学, 農学, 海事科学)と共に設置された比較的新しい組織です。2010年に新たに設置されたシステム情報学研究科を含む5研究科と協同しつつ、自然科学系の先端的研究の推進を図り、学際性・総合性の調和のとれた教育研究を発展させることを目指しています。この研究環は、22の重点研究チームからなる「重点研究部」と5つの研究センターからなる「センター群」で構成されていますが、現在80名弱の専任教員がおり、女性教員の割合は約14%となっています。研究環はまた、自然科学系の各研究科との共同で、女性研究者養成システム改革加速プログラムにも参加しています。このプログラムの枠内で、これまでに5名の女性研究者を重点研究部の専任助教として採用し、女性教員の採用にも貢献しています。神戸大学においては、女性教員にとっても働きやすい環境が整備されつつあります。地道な努力が必要だとは思いますが、自然科学系でも研究者を志す女性の絶対数が増加し、おのずと教育研究にもよい影響が出てくることを期待しています。



UNESCO ワークショップ “Towards Sustainable Society” を開催しました



神戸大学男女共同参画推進室では2012年3月27日・28日の両日にユネスコからジェンダーと科学の専門家を招きワークショップを開催しました。このワークショップは、神戸大学教職員を対象に科学とジェンダーの融合およびその教育に関するユネスコの活動について学ぶことを目的に開催されました。ワークショップ1では、“Towards Sustainable Society”と題し、始めに前男女共同参画推進室室長であり、人間発達環境学研究科長の朴木佳緒留教授から、“Kobe University’s Promoting of Gender Equality”の題で神戸大学のこれまでの男女共同参画に関する取組について報告がありました。続いて、ツェンコヴァ・ルミヤナ男女共同参画推進室長より、“Towards Sustainable Society”の表題で男女共同参画推進室が現在取り組んでいる「加速プログラム」における理系女性研究者支援について報告がありました。次に、ユネスコ自然科学部門プログラム専門員のDiana Malpede氏より“Science Towards Sustainable Societies: The Transformative Vision, Perspectives and Role of Women”と題して、持続可能な社会の構築に向けた科学と女性の役割についてお話がありました。また、ユネスコ男女共同参画准専門官であるSara Callegari氏からは、“UNESCO’s Priority Gender Equality: Empowering Women for Sustainable Society”のテーマで、ユネスコが最優先課題とするGender Equalityの取組について講演がありました。翌日のワークショップ2では、始めに“EU Institute in Japan, Kansai”と題して、学長補佐(EU学術交流担当)久保広正経済学研究科教授からEUに関する教育や研究交流に関して講演がありました。次に、Sara Callegari氏より、“Institutes under the Auspices of UNESCO: Requirements and Opportunities”と題し、ユネスコが取り組んでいる後援・認証の制度についてご説明がありました。両日とも、ユネスコの科学と男女共同参画推進のための活動について直接専門員からご説明を頂く良い機会となり、それぞれのご講演の後には活発な意見交換が行なわれました。



着任教員のご紹介



松尾 栄子
(まつお えいこ)

神戸大学大学院自然科学研究科博士前期課程修了後、大阪大学大学院医学系研究科にて博士(医学)取得。大阪大学微生物研究所、London School of Hygiene & Tropical Medicine (英国)での研究員を経て、2011年8月から神戸大学農学研究科助教。専門は分子ウイルス学。次々と湧いてくる「ウイルスの謎」と日々奮闘中。

約9年ぶりに神戸大学に帰ってきて9ヶ月あまりが過ぎました。最初は随分と変わってしまった母校に驚きましたが、最近では「一見変わったように見えても相変わらずな『神大なトコロ』」を再発見中です。これまで、主に研究グループの一員として大まかに割り振られた自分の研究にのみ集中していれば良かったのが、今は感染症という大きなくりの中で自分の研究グループを立ち上げ、その中で研究教育に従事すると言う事で、戸惑うことも多々ありますが、諸先輩先生方にご助言いただきつつ、学生さん達と一緒に少しずつ前に進んで行きたいと思えます。



中馬 いづみ
(ちゅうま いづみ)

神戸大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了、博士(農学)。神戸大学育成研究員を経て、2012年1月より自然科学系先端融合研究環重点研究部助教。

神戸大学では、ポストドク期間中にもたくさんの支援をいただき、学内外の先生方、スタッフの方々にいつもたくさんの激励をいただいております。本当にありがとうございました。農学部植物病理学研究室をベースに教育・研究に取り組んで4ヶ月になります。学生とともに植物病害診断を学び、イネ科植物いもち病菌の研究を行うという、好きなことをのびのびとさせていただける環境に、とても感謝しております。今後とも宜しく願い申し上げます。

NEWS!

今年度の「子育て中の男女研究者支援」は

17名(女性13名、男性4名)への支援が決定しました!

研究支援員が年度末まで10カ月、12カ月、週8〜10時間配置されます



開催報告

理系若手女性研究者 研究最前線 2011

2012年2月29日 六甲台キャンパス百年記念館会議室Aにて標記発表会を開催しました。

本報告会は男女共同参画推進室が支援を行っている理系の若手女性研究者による研究発表会です。平成19年より毎年開催されており、今回で5回目となります。

今回は平成23年度の育成研究員2名と、23年度より新たな支援策として行われた「助手・任期付き助教を対象とした研究助成金」支援者の3名の計5名の女性研究者が、日頃の研究成果を発表しました。各人とも持ち時間を目いっぱい使って発表し、質疑応答では活発な質問やコメントが出されました。また、講評では相馬芳枝特別顧問より、これからの活躍が期待される若手女性研究者たちへの激励のメッセージが送られました。

神戸大学 男女共同参画推進室

男女共同参画推進室シンボルマーク

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL 078-803-5017 / FAX 078-803-5285 分室 TEL / FAX 078-803-5471
Email: gnrl-kobestyle@office.kobe-u.ac.jp
HP: <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/index.html>



ベビーシッター 育児支援事業割引券

ベビーシッターサービスを利用する際に利用できる「ベビーシッター育児支援事業割引券」を配布します。サービス利用時に割引券を提示することで、1回の利用料金から1,700円が割り引きされます。(1,700円以上の利用料金に限りません)



病後保育・夜間保育の理由でベビーシッターを利用した際のベビーシッター派遣料金の一部を補助します。基本のベビーシッター派遣料金は2380円/1時間ですが、本サービスの利用により、常勤職員の場合は1000円/1時間、非常勤職員※の場合は500円/1時間が利用者負担となります。なお本サービスは神戸大学が株式会社マザーネットと法人契約を結び、実施します。

病後児・夜間保育
ベビーシッター
派遣料金の一部を
補助するサービス

※1週間当たりの契約労働時間が40時間の非常勤職員に限りです

詳細は当室ホームページをご覧ください



分室のご案内

男女共同参画推進室の分室にもお気軽にお立ち寄りください。
場所：自然科学総合研究棟2号館101号室